

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	玄海町	代表者名	脇山伸太郎
担当者部署	DX推進室	連絡先電話番号	0955522111
担当者役職	情報専門官	担当者氏名	小川正夫
		連絡先E-mail	
住所	847-1421 佐賀県玄海町諸浦348		

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	藤井 靖史
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	玄海町と同様の小規模団体のDX分野の責任者をされているため、小規模団体の内部事情も踏まえた具体的なDX対応事例や、課題に対する有効な取り組みに関する意見交換質疑応答を含め、最新の技術動向や前年度の対応も踏まえて研修として実施していただけたため。
アドバイザーへの要望事項	可能であれば継続して助言等をお願いしていきたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年6月27日	講演(実地)	有	令和5年8月9日	830
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年10月17日	講演（実地）	10時00分	11時50分	
				活動時間（分）	110
3-2. 派遣場所	会場名	玄海町役場	最寄駅	JR西唐津駅	
	所在地	佐賀県東松浦郡玄海町諸浦348	最寄駅からの交通手段	タクシー	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
------	--------------------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	町長・副町長・教育長・課長職・DX推進担当係長	21人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	前年度に幹部職員等に向けてDX講演会を実施して一定の理解を進めることができたが、DX推進の実務を担う一般職員においてDXの重要性などについては理解が進んでいない状況であると推察されるため、今年度は一般職員におけるDX意識醸成を進めることが必要である。また、ローカル5Gを含む新規の高度化通信事業の基盤技術や内容・目的等の理解が進んでおらず、DX推進の一環として幹部職員等の間で共通の認識が持てるようにする必要がある。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	なぜDXが必要なのか、どのように取り組む必要があるのか等のDXについての取り組みの重要性を幹部・職員が認識して自らの意識が改革され、魅力的な地域社会の創出、将来の成長・発展等について自分達で考えてDX関連事業が運営されるようになる。また、玄海町で行われるローカル5Gを含む新規の高度化通信事業についてDX推進の一環として基盤技術や内容・目的等の理解を進め、幹部職員等の間で共通の認識が持てるようにする。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	藤井アドバイザーにファシリテータをお願いし、ローカル5G等の高度通信に詳しい事業者から、技術の概要やなぜ玄海町への導入が必要なのか等について説明してもらい、出席した幹部職員からの質問に対して藤井アドバイザーから他団体の類似する事業の推進状況などに関する意見も加えての進行を進めていただきながら、事業者との質疑応答・意見交換を行った。	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	受講アンケートで、今回の研修自体については80%がよい・非常によいと回答があり、今回の機会を設けた意義が認められた形となった。一方で、事業の技術や目的等に関する事業者の説明について50%はわかった・よくわかった、50%はどちらとも言えない・あまりよくわからないなどの回答であり意見が分かれた結果となり、ローカル5G等の技術の内容やどのように地域社会に活かすか検討を短期間で行うことの難しさも浮き彫りになった。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	受講アンケートで企業誘致分野で「補助金で地域振興を図る」等の意見があった一方で、住民サービス等に関連して「もっと勉強したい」等の不完全燃焼感も提示された状況であり、今後、さらに幹部等での新技術の活用検討やこれに向けた意識共有等も必要であることがわかった。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 以下に記載のとおり。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	幹部・職員の多くがDXについての取り組みの重要性を認識し、庁内の様々な業務においてDXの観点を踏まえて企画・運営できるようになる	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

■研修の様様

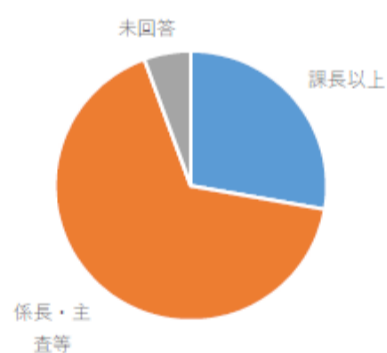


■アンケート結果

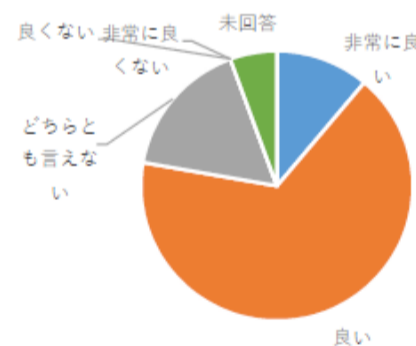
令和5年10月17日開催
ファシリテーター(進行):
藤井靖史アドバイザー

出席者21名のうち
回答があった19名の
回答内容の集計結果

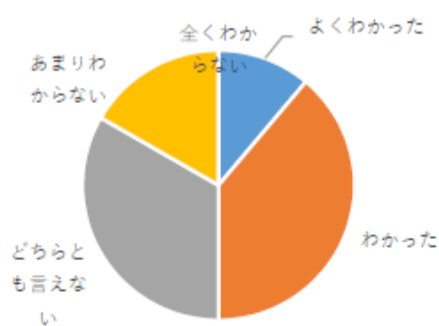
回答者の属性



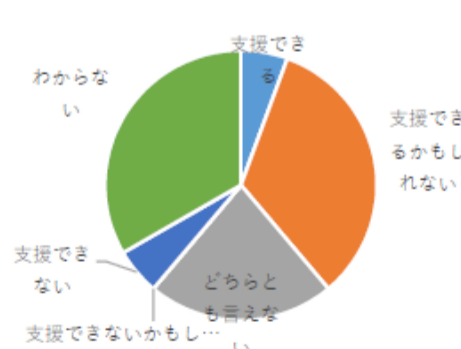
1. 今回の研修全般について



2. 提案者からの説明



3. 企業誘致への支援



4. 住民サービス等への支援

